

「国土交通白書説明会」等の開催

- 全国11ブロックで、地元経済団体等と共同等で説明会を開催。
 - ・開催ブロック: 北海道、東北、北陸、関東、中部、近畿、中国、四国、九州、沖縄、筑波
 - ・来場者: 計2200名程度
- メディア等で事前の周知を図り、広く一般に参加者を募集。新聞等で説明会模様が報道される。
- 若手女性による積極的な発信、職員2名による台詞のやりとりを交えた対話形式による講演、シンポジウム形式による講演等、PRの仕方も工夫して実施。
- 経済団体(経団連、東商)、自治体等の講演会等、その他の場においても白書をPR。

「国土交通白書出前講座」等による広報活動の実施

- 「国土交通白書出前講座」を新設。
 - ・国交省ホームページのトップ画面に、「国交白書、参上！ー出前講座始めましたー」のバナーを設置し、募集中。
※出前講座: 一般からの依頼を受け、白書担当職員が出向いて説明を実施
- 国土交通省メールマガジンにて、白書関連情報を一般向け配信。
 - ・白書公表後及び出前講座設置後メール配信を実施。

全国各地地方ブロックにて積極的PRの検討・実施

- 各地方ブロック(各地方整備局・運輸局)にて、更なる白書のPRを検討・実施。
 - ・各種イベント等での白書ブースの設置やパンフレット・チラシの配布等、広報を図る。

「国土交通白書説明会」の開催状況

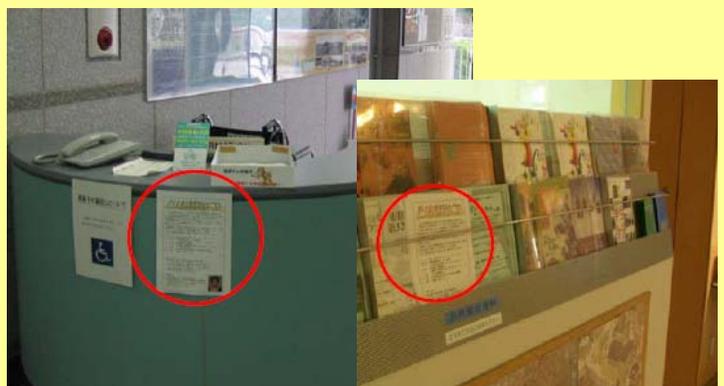
1. 事前周知・積極的な一般募集



平成20年度国土交通白書説明会の開催について

平成20年度国土交通白書につきましては、去る4月21日に閣議配布、公表されました。

HP、記者発表等での事前周知 政の展開」をテ



道の駅、ダム見学所、民間施設等での掲示

2. 説明会当日の様相



経済団体等との連携での説明会



名古屋商工会議所岡田会頭 (株式会社松坂屋会長) 挨拶

国土交通行政シンポジウム
「まちづくりと観光・交通を考える」
主催/北陸信越運輸局・北陸地方整備局・新潟県・新潟市

シンポジウム形式での講演



対話形式での講演

東北ブロック説明会での報道例

3. 新聞等メディアでの報道

◎国交白書の視点、育児体験交え説明＝若手女性主査が講演会－仙台

入省6年目の十河主査は2歳の子どもを育てるワーキングマザー。ベビーカーに乗せて外出した際、歩道の電信柱が邪魔で車道に出たり、電車の駅で階段を下りざるを得なかったりした体験談を織り交ぜ、「もう少し生活者の視点で白書を考えてみたらどうかと提案し、意見が加味された」と明かした。



HPにて募集中

国土交通白書

白書の説明にうかがいます！～平成20年度国土交通白書出前講座～

国土交通白書出前講座ってなに？

平成20年度の国土交通白書は、「私たちの暮らしを支える国土交通行政の展開～厳しい経済状況下で暮らしを守り活力づくりに挑む～」です。生活する皆さんのご聞きして、暮らしと生活環境の現状と課題を分析し、国土交通省が負う課題の把握を目指しました。この白書のご説明にうかがいます。

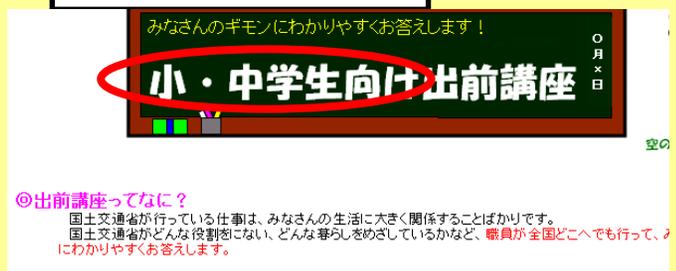
本省HPトップにバナー設置



地方局HPトップにでもPR



小中学校への出前講座



霞ヶ関子どもデーにおけるピラ等の配布によるPR(8/18,19)

国交白書、参上！
出前講座、始めました

2009/07/01
河川 海岸漂着危険物対応

ピラ等による各地方ブロック等でのPR

MLIT

●●● | 平成20年度国土交通白書

私たちの暮らしを支える 国土交通行政の展開

国土交通省は、心から安心して潤いを実感できる暮らしを実現すべく、暮らしの中で人々が感じ求めていることに真摯に向きあうことが大切だと考えます。

白書では、暮らしと生活環境について、人々のニーズに耳を傾け、現状と課題を分析し、国土交通行政の展開について今後の方向性を紹介しています。

★ 国土交通省HPにて、白書全文掲載中！

<http://www.mlit.go.jp/statistics/file000004.html>

★ “白書出前講座”、HPにて募集中！！

http://www.mlit.go.jp/page/kanbo01_hy_000412.html

→“白書出前講座”：職員が白書の説明に伺います。

国土交通省 代表03-5253-8111



20年度国土交通省白書説明会

今後の施策について解説

札幌商工会議所

札幌商工会議所は16日、北海道経済センターにて「平成20年度国土交通省白書説明会」を開催し、約100名が参加した。
当日は、札幌商工会議所運輸・自動車部の伊藤昭人副部長と北海道運輸局の



関連講演「グリーン物流の制度と事例紹介 ((株)札幌通運石黒課長)」も実施

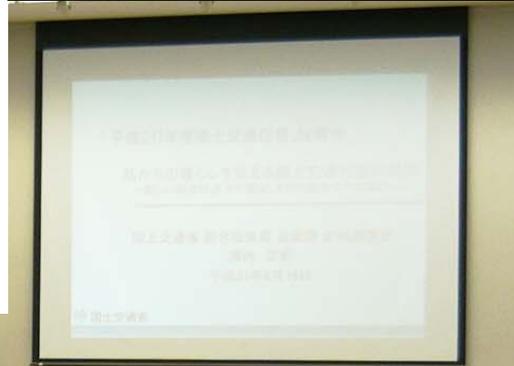
尾澤克之局長が挨拶に立った後、国土交通省総合政策局政策課の企画調査室長である源内正則氏が「私たちの暮らしを支える国土交通行政の展開と題して講演。現在住んでいる地域での生活環境や暮らしについての満足度や将来に対しての不安、就業機会や通勤時間などの労働に対して地域による認識の差、物流の仕組みや役割の意識調査、余暇の過ごし方や周囲の観光資源の魅力、国民の認識について調査結果を解説した上で、今後の施策について説明。

源内氏は、これらの様々なニーズや要望に対して5つの視点から取り組むとして、自然災害対策や公共交通、防犯などの暮らしにおける安全や安心の確保、中心市街地の活性化やまちなか居住の促進など生活する中で心地良きの向上、バリアフリー化の現状と課題など具体的な施策について解説した。



続いて、札幌運輸㈱の経営管理企画課長の石黒幹氏がグリーン物流の制度の概要や事例紹介について説明。輸送体制の効率化を図ることで、CO₂排出量の削減や輸送コストの削減につながることを訴えた。

日刊建設新聞
(6月25日1面)



6月16日、北海道経済センターにて。来場者数約170名。源内企画調査室長による説明。

説明会后、報道された記事

◎ 国交白書の視点、育児体験交え説明
＝若手女性主査が講演会－仙台

2008年度の国土交通白書(国交白書2009)を紹介する東北経済連合会主催の講演会が23日、仙台市内で開かれ、作成に携わった国土交通省政策課の十河(そごう)久恵主査が白書の視点やポイントを説明した。

入省6年目の十河主査は2歳の子どもを育てるワーキングマザー。ベビーカーに乗せて外出した際、歩道の電信柱が邪魔で車道に出たり、電車の駅で階段を下りざるを得なかったりした体験談を織り交ぜ、「もう少し生活者の視点で白書を考えてみたらどうかと提案し、意見が加味された」と明かした。

白書は、暮らしの現状と課題を「地域に住まう」「社会で活動する」「場所を移動する」の3点から分析し、今後の施策展開を「安全・安心の確保」など五つの視点でまとめている。

十河主査は、東北では現状の満足度が他地域と比べ一番低く、将来の不安度が最も高い点に触れながら、「諸課題に対してきめ細かく強かにチャレンジしたい」とアピールした。

○写真: 国土交通白書のポイントを説明する国交省政策課の十河主査 =23日午後、仙台市青葉区の宮城県建設産業会館



新聞における事前周知、一般参加者募集



講師を担当する十河久恵氏
(国交省総合政策局政策課企画調査室主査)

東 経 連
仙台市で23日開催
国土交通白書講演会

社団法人東北経済連合会(幕田圭一会長)主催の「国土交通白書講演会」が6月23日、仙台市内で開催される。後援は東北地方整備局と東北運輸局。

同講演は国土交通白書2009(平成20年次報告)のポイントを紹介するもの。白書の公表に合わせて毎年開催しているもので今回が7回目となる。厳し

い経済情勢の中、国交省が市民のニーズや課題を調査しながら生活者の視点に立つて進めている施策を分かりやすく紹介。講師は国交省総合政策局政策課企画調査室主査の十河久恵氏

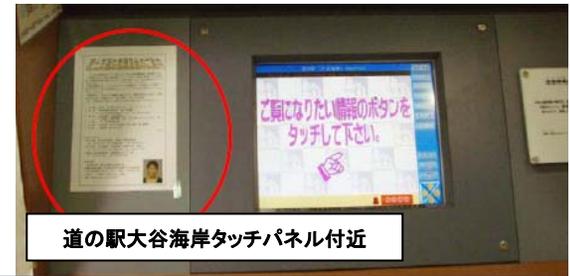
入場は無料で一般の聴講も可能となっている。聴講希望者は事前に東北経済連合会ほか申し込むこと、定員は300人となっている。申し込み、問い合わせ先は以下のとおり。

- 1 画調会室の十河久恵氏
- 2 担当: ワーキングマザーでもの親が生活者としての視点も織り交ぜながら講演する。
- 3 日時と場所は6月23日(火曜日)午後1時30分から3時まで、仙台市青葉区支倉町の県建設産業会館1階大会議室にて。
- 4 申し込み、問い合わせ先は以下のとおり。
- 5 東北経済連合会地域政策グループ(☎022-7789-2100)
- 6 東北地方整備局総務部総務企画官室(☎022-8225-2171、内線2338)
- 7 東北運輸局交通環境部消費者行政・情報課(☎022-7917509、内線290)

日刊建設新聞(6月18日)

時事通信(IJAMP)配信(6月23日)

県内各所における幅広い事前周知



6月23日、宮城県建設産業会館にて。来場者数約300名。十河主査による説明。

(参考)北陸ブロック

シンポジウム形式による開催

国土交通行政シンポジウム
「まちづくりと観光・交通を考える」

主催 / 北陸信越運輸局・北陸地方整備局・新潟県・新潟市



3. 新潟県大観光交流年を迎えて
坂巻観光局長(新潟県)



2. モビリティマネジメント

松田都市交通政策課長(新潟市)



4. 外国からのお客様をお迎えするために
佐藤観光ホスピタリティ学科長教授
Yokoso! Japan大使(松本大学)



1. 国土交通白書



0. 後藤局長開会挨拶
(北陸信越運輸局)

NHK(7/1、18:10～・20:45～)

NHKのローカルニュースにて、国土交通行政シンポジウム「まちづくりと観光・交通を考える」の様子が報道される。

新潟建設新聞(7月3日)

行政シンポジウム開く
まちづくりなど考察
北陸地整ほか

共催で国土交通行政シンポジウムを開いた。テーマは「まちづくりと観光・交通を考える」。新潟市民プラザ(NPZ)に地方自治体・各種団体などの関係者約220人が集まった。

国土交通総合政策局は同省の役割や行政全体を広く周知するが具体策を盛り込んだ。平成29年度「国土交通白書」を解説。

新潟市都市政策部は自動車に頼り過ぎない社会を目指してモビリティ・マネジメントについて観光客へのバス回数券配布、レンタサイクルの推進などを紹介した。



また、県産農産物観光ターゲター増大へ向けた施策を報告した。

さらに、松本大学の佐藤博康教授がインバウンド客の現状と課題について講演。外国人観光客が日本に抱くイメージとして、最も改善を要する点を「閉鎖性」と指摘した。言語の問題も大きく、英語表記を駅名標などに英語表記を付けると、外国人観光客に対するパリアフリーの重要性も述べた。

質疑応答で、「国交省は都市交通に軸足を置いているようだが、過疎地や中山間地の公共交通の施策誘導に遅れがあったのではないかとこの指摘を受け、同省総合政策局は「十分な点を反省し、総合的な取り組みに努力を尽くしたい」と応じた。

7月1日、新潟市民プラザホールにて。来場者数約230名。源内企画調査室長による説明。

(参考)筑波ブロック



5月28日、国土地理院にて。来場者数約70名。
青木政策調査室長による説明。



大口総合政策局長講演



対話形式による講演



6月18日、さいたま新都心合同庁舎にて。来場者数約200名。大口総合政策局長による講演、青木政策調査室長・十河主査による説明。



名古屋商工会議所岡田会頭
(株式会社松坂屋会長)挨拶

観光振興では、外国
旅行者の誘致などを
図る。本年度から関係
で調整を始めた。
すれば、同地方で
してとなる。

新 聞

地域公共交通活性化など

中部の施策も紹介

国土交通省
白書説明会

中部運輸局などが主
催する二〇〇八年度の
国土交通白書説明会が
二十二日、名古屋市の
名古屋商工会議所で開
かれ、中部地方の自治
体や交通事業者ら二百

五十人が出席した。今
回の白書では、四千人
を対象に国民アンケー
トを実施。広範な要望
を把握し、施策に反映
させたのが特徴で、中
部地方の施策展開も紹

介された。
中部地方の施策は、
地域公共交通の活性化
と、観光立国の指針を
受けた地域観光振興な
どが柱。交通面での主
要課題では、都市圏で
の効率的な輸送手段に
位置付けられる名古屋
市の基幹バス事業の高
度化を検討。将来的
に、二台の車両を連結
したバスを導入する場
面での安全性確保の面
で問題を出し出す
問題、本年度から関係
で調整を始めた。
すれば、同地方で
してとなる。

中日新聞朝刊(6月23日)

念頭に、昨年制
した観光整備法
された伊勢志摩
光園が、旅行業
例を受けた。關
三軒のホテルや
滞在型旅行商品開発に
取り組む、成果を上げ
ている。(黒谷正人)



6月22日、名古屋商工会議所にて。来場者数約250名。名古屋商工会議所会頭による挨拶、伊藤政策調査室課長補佐による説明。



国土交通白書説明会

主催 中国運輸局・中国地方整備局



6月24日、中国合同庁舎にて。来場者数約140名。
源内企画調査室長による説明。



対話形式による講演

6月26日、第五博多偕成ビルにて。来場者数約200名。
荒木係長・永野係長による説明。

国土交通白書説明会について（案内）

標記について、下記のとおり開催しますのでご案内いたします。

本説明会は、本省より説明者が来高し、国土交通省職員ほか関係者を対象に国土交通白書に関連する最新の情報を幅広く提供するものです。

つきましては、ご多忙とは存じますが、貴協会の参加希望者を取りまとめいただき6月1日（月）までにご連絡をお願いします。

記

1. 日 時 平成21年6月8日（月） 13:30～15:00
2. 場 所 高松サポート合同庁舎 低層棟 2階 アイホール
香川県高松市サポート3番33号
TEL (087) - 851-8061
3. テーマ 「私たちの暮らしを支える国土交通行政の展開」
4. 説明者 国土交通省 総合政策局
政策課 企画調査室 主査 十河 久恵 氏
5. 主 催 四国運輸局、四国地方整備局



6月8日、高松合同庁舎にて。来場者数約120名。
十河主査による説明。



5月29日、那覇第二合同庁舎にて。来場者数約80名。
荒木係長による説明。